

# 「理容店でヒゲそり後」痛くない

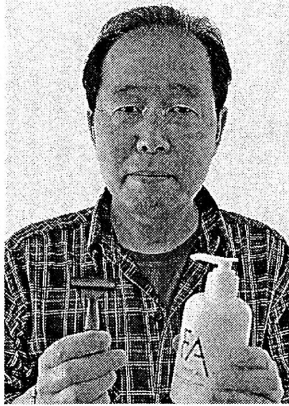
散髪後にヒゲをそってもらったら顔がヒリヒリする。男性であれば一度は経験したことがあるだろう。磐田市の理容店、ジャンディ&アブニールがこの悩みを解決した。河合則克社長（64）は化粧水の成分でシェービングローションを開発。T字型の安全カミソリも改良し「痛くないヒゲそり」（河合社長）を実現した。北海道から沖縄県の宮古島まで、全国の理容店で利用が広がっている。

「ヒゲそりが痛い」。河合社長は常連客の苦情にハツとさせられた。様々な場所で見知らぬ人にも聞いたところ、大半の人が理容店

## 静岡の旬

### 化粧水成分のローション カミソリは無駄な力不要

ヒゲそりセットの「フェイスアップ」を手持つ河合社長



のヒゲそりに不満を持っていることが分かった。そこでローションと安全カミソリのヒゲそりセット「フェイスアップ」を10年ほど前に商品化した。

ローションは偶然のためものだ。ある日、シャンプーした後に酸性のリンスをつけたところ、髪が一瞬で軟らかくなったことに気付いた。実際にリンスでヒゲをそって見たところ、痛くないが、繰り返すうちに

皮膚が炎症を起こしてしまがくるよう設計してあり、化粧水の成分で酸性の安定感もある。肌に無駄なローションをつくらうと試行錯誤を重ね、東京都内化粧品会社と商品化した。

成分が化粧水と同じなので、ヒゲそり後、肌がすべすべになるという。保存料を使わないため、肌が刺激に弱い人も利用しやすい。独自開発した安全カミソ

通常のカミソリに熟練するには「3年でも不十分」衰退が進んでいる。河合社長によると、静岡県内で理容師になった人はこの2年間ゼロ。「痛くないヒゲそり」で顧客の満足度を高め、業界活性化を目指す。

「若い人にやる気が出る」。市販品の2倍という約100%の顧客の待ち時間短縮につながるというメリットもある。

同社独自のヒゲそりは全8000軒の理容店が導入した。当初は河合社長が各地に向いて指導していたが、現在は10分ほどの研修用DVDを配布している。静岡県の理容店の組合に加盟する全店舗へ広げる計画も温めている。

理容業界は低価格チェーンや美容院に客を奪われ、

# 静岡